

【PET-CT検査を受けられる方へ】

■ PET-CT検査とは

微量な放射線(ポジトロン)を出す物質を加工した放射性医薬品(PET製剤)を体内に投与し、薬剤の体内動向を専用装置で測定しPET画像をつくります。使用薬剤の半減期は短く、高精度な画像が得られます。また同時にCTの撮像も行い、CTとPETの画像を重ね合わせて診断を行います。

■ PET-CT検査受けられる際の注意事項

1. 本検査は放射線による被ばくを伴うため、検査の必要性が被ばくのリスクを上回ると考えられた場合のみ検査を実施いたします。
尚法令や関連学会のガイドラインに基づいた条件下で検査を実践しており放射線による被ばくは必要最低限となっています。
2. FDG-PET検査においては食事制限・水分制限・投薬制限・運動制限をお願いすることがあります。別紙の検査予約票をご確認ください。
3. 検査中、身体を動かさない等の制約があります。(撮影時間は30分)
4. 金属製の装飾品(ヘアピン・ピアス・ウィッグ・ネックレスなど)、眼鏡・補聴器は外していただきます。

検査のながれ



○ FDG-PET検査

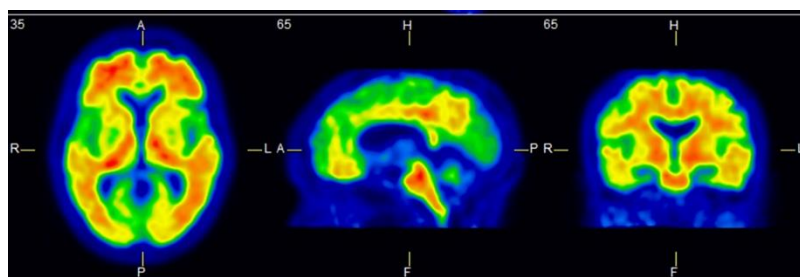
微量な放射線（ポジトロン）を出す放射性医薬品（ ^{18}F -FDG）を静脈に投与し、がん細胞が正常組織に比べて多くのブドウ糖を取り込む性質を利用して、全身の悪性腫瘍や炎症を検索する検査です。



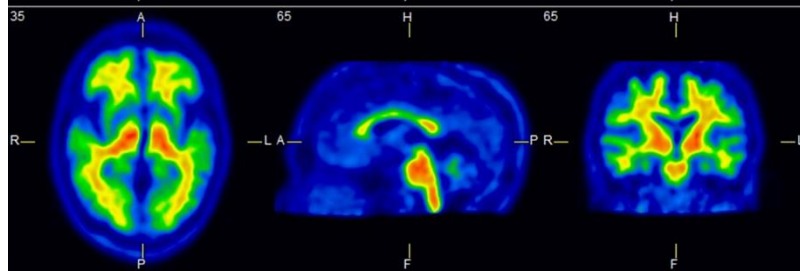
○ アミロイドPET検査

微量な放射線（ポジトロン）を出す放射性医薬品（Flutemetamol (^{18}F))を投与し、アルツハイマー病の原因物質と考えられるアミロイドベータプラークが脳内に溜まっているかを検索する検査です。

【陽性】



【陰性】



陽性・・・皮質への取込が高い場合、脳の辺縁まで広範囲に薬剤が集積